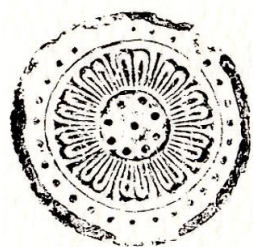


大分市歴史資料館年報

(平成 21 年度)



2010

は じ め に

今年度の特別展は、平成 21 年 2 月 12 日に国の史跡に指定されました横尾貝塚の展示を致しました。第 28 回特別展は「山ん縄文と海ん縄文ー縄文人のムラのかたちー」を 7 月 10 日から 9 月 6 日の 58 日間開催しました。本展示では、横尾貝塚を市民の皆さまに分かりやすく紹介するため、主要な縄文遺跡にみられる名産品、マツリの道具等を一堂にあつめて、この時代の流通の仕組みやムラの様子を紹介しました。

期間中の 8 月 23 日には、植田市民行政センター2 階会議室にて講演会を開催しました。講演は、岡村道雄氏（国立文化財機構 奈良文化財研究所 名誉研究員）による「世界的にみた縄文文化と横尾貝塚」で、縄文時代の生活と文化を通して横尾貝塚の重要性について分かりやすく解説され、参加者と講師とのやり取りで笑いを取るなど終始和やかな雰囲気でお話を頂きました。

歴史資料館の仕事については、この年の新型インフルエンザの流行があり、若干利用者数が下がりましたが、展示活動（年 1 回の特別展と年 4 回のテーマ展示）と教育普及活動として、ふるさとの歴史再発見（歴史・考古・民俗 文化史・古文書コースなど）、体験講座（ふれあい歴史体験講座・昔のおもちゃで遊ぼう・勾玉作り教室・ジュニア歴史講座・子ども一日学芸員）などや資料調査・収集活動など努力している所であります。

また、歴史資料館に来られない学校・団体のため、職員が出向いて体験する「移動歴史教室」を実施し、学校・団体の利用の促進を図っております。

教育普及の場として、市民の皆さんに親しまれる資料館であるためにも、利用者の皆さまの声を反映させながら、よりよい資料館活動をめざしているところです。

これら様々な事業をとoshi、大分の歴史遺産を生かし、市民が身近に感じられる歴史資料館として一層の充実をはかっていきたいと思ひます。

今後とも、広く各方面の皆様にご支援とご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

平成 22 年 7 月 31 日

大分市歴史資料館
館長 讃 岐 和 夫

目 次

展 示	1
テーマ展示 特別展 その他展示	
資料調査	12
資料収集	15
教育普及活動	19
平成 21 年度 大分市歴史資料館研修報告	23
大分市立植田西中学校 教諭 由良 一郎	
歴史資料館利用状況	25
管理及び運営	26
歴史資料館協議会 組織機構・事務分掌・職員・歳入歳出 施設管理業務の内容	
施設の概要	27
利用案内	28

展 示

(1) テーマ展示

第1回 「昔の道具にみる匠のわざと知恵」

会期 4月18日(土)～6月28日(日)

開館日数：61日 入館者数 3,965人

道具には、匠のさまざまな「わざ」と「知恵」が詰め込まれています。この職人の手によって作り出されるさまざまな道具。現在ではそのわざや知恵も、日常の中で見る機会は少なくなっていました。そのため1つの道具を作るのに必要とされる数多くの道具や素材を活かす知恵などが失われています。機械化によって次第に消えつつあるこの匠のわざと知恵を、主に大分市に残っている道具を通して、桶職、鍛冶職、屋根（家根）職、提灯職、瓦職の5つの職業から紹介した。

主な展示品

弓張提灯／箱提灯／小田原提灯作製型／水桶／桶製作道具一式／大バサミ／ほめ板／獅子瓦／ウサギ瓦／瓦型／瓦台座／手曲鋸／木挽き鋸／擦合せ鋸など



テーマ展！
昔の道具にみる
匠のわざと知恵

道具には、匠のさまざまなわざと知恵が詰め込まれているのをご存知ですか？
職人の手によって作り出されるさまざまな道具。今ではそのわざも知恵も、日常の中に見る機会は少なくなっていました。そのため、一つの道具を作るのに必要とされる数多くの道具や素材を活かす知恵も失われています。今回は、大分市に残っている道具を通して、桶職、鍛冶職、家根職、提灯職、瓦職の5つの職業から紹介します。

大分市歴史資料館 テーマ展1
〒870-0864 大分市大字西分960-1
Tel. 097-549-0080
休館日 月曜日・祝日の翌日
(但し第一月曜日は閉館、翌日が休館)

観覧料
大人200円 高校生100円 中学生以下無料



「提灯職」コーナー



「桶職」コーナー



「屋根職」・「瓦」コーナー



「鍛冶職」コーナー

第2回 「みやびの世界—源氏物語絵」

会期 9月26日(土)～11月23日(月)

開館日数：51日 入館者数：5,548人

11世紀の初めに紫式部が書いた「源氏物語」は、貴公子、光源氏の波乱に富んだ人生を主軸に描かれた長編文学です。そのストーリーの展開の面白さから「源氏物語」は、時代・時代を通して多くの人々に愛読されていました。特にこの物語を一層魅力的にしたのが「源氏物語絵巻」でした。その後、物語を題材にした色紙絵・扇面絵・屏風絵が描かれ、絵そのものが鑑賞の対象とされるようになりました。現在もお多くの人に愛される源氏物語を、当館が所蔵する「伝宇佐神宮旧蔵源氏物語絵」で紹介。併せて物語を魅力的なものにした源氏絵（伝狩野光信作）の世界を鑑賞していただいた。

主な展示品

伝宇佐神宮旧蔵の源氏絵（25面）／大友吉統筆
「十二月言葉手鑑」

大分市歴史資料館 テーマ展示Ⅱ

みやびの世界

9月26日

源氏物語絵～

11月23日

52巻「嵯峨」

11世紀の初めに紫式部が書いた「源氏物語」は、貴公子、光源氏の波乱に富んだ人生を主軸に描かれた長編文学です。そのストーリーの展開の面白さから、源氏物語は、時代を通して多くの人々に愛読されていきました。特にこの物語を一層魅力的にしたのが「源氏物語絵巻」でした。その後、物語を題材にした色紙絵・扇面絵・屏風絵が描かれ、絵そのものが鑑賞の対象とされるようになりました。当館が所蔵する源氏物語の絵（＝源氏絵）を通して、光源氏の織り成す雅な平安時代の公家社会の有様をご鑑賞ください。

大分市歴史資料館
〒834-0864 大分市大字園分960-1
Tel: 097-549-0900
開館時間 9時～17時（入館16時30分まで）
観覧料 大人200円 高校生100円
小中学生は無料
休館日 月曜日・祝日の翌日



展示室風景



「源氏絵」展示風景①



「源氏絵」展示風景②



「十二月言葉手鑑」ほか展示風景

第3回 「地図と写真でたどる大分の近代史」

会期 12月5日(土)～1月31日(日)

開館日数：42日 入館者数：2,102人

明治新政府が行った廃藩置県や県の統廃合を経て、明治4年(1871)11月に大分県が誕生しました。廃藩置県で府内城に県庁が置かれて以来、大分市は県都として、鉄道や港湾、都市機能の整備などが進められ、こんにち東九州における重要な拠点都市として大きく発展をとげている。こうした大分市の明治～昭和の歴史を「大分町から大分市へ」「大分に路面電車・蒸気機関車が走る」「戦災からの復興」とした各コーナー順に当時の地図や写真で紹介した。

主な展示品

大分町図(明治13・14年頃)／大分県写真帖／大分市鳥瞰図(昭和9年)／大分市鳥瞰図(昭和25年)／大分市制要覧

大分市歴史資料館 テーマ展示Ⅲ

地図と写真
でたどる
大分の近代史

会期
12月5日(土)～1月31日(日)



明治新政府が行った廃藩置県や県の統廃合を経て、明治4年(1871)11月に大分県が誕生しました。旧府内城に県庁が置かれ、以来この城下町を核に現在の県都大分市が築かれていきます。明治33年(1900)九州で初めて大分に路面電車が走り、同44年には大分駅も開業し門司～大分間を蒸気機関車が運行するようになりました。また、大正4年(1915)に3,000トン級の大型船の碇泊可能な大分港(現在の西大分港)が完成し、陸・海の交通機関の整備がすすむと、大分市は東九州における重要な拠点都市として大きく発展をみるようになりました。

本テーマ展示では、こうした大分市の明治から昭和までの歴史を地図や写真でたどります。

利用案内

■開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで) ■観覧料 大人200円 高校生100円 中学生以下は無料

■休館日 月曜日 祝日の場合は開館。但し第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館日

祝日の翌日 但し土・日曜の場合は開館

年末年始 12月28日～1月4日 ※平成22年は、1月6日より開館

展示室風景

「大分町から大分市へ」

「大分に路面電車・蒸気機関車が走る」

戦災からの復興

- 3 -

第4回 「大友館 最前線！ー考古資料と文献史料が語る大友館の実像ー」

会期 2月13日(土)～3月28日(日)

開館日数：38日 入館者数：3,442人

豊後国の守護、大友氏の本拠地であった「府内」(現在の大分市)は、戦国時代の町の様子が描かれた古い絵図「府内古図」などを手がかりに現在発掘調査が重ねられ、戦国都市「府内」の姿が日々明らかになっている。中でも、町の中心にあった「大友館」は、長年にわたる遺構・遺物などの調査・研究や文献史料の検討から、具体的な様子がわかってきた。「館のはじまり」のコーナーでは、館の移り変わりを、「館の繁栄」では、館の中核施設とみなれる大きな建物や庭園の有り様、また、優れた中国産の青磁・青花などの陶磁器や金細工で飾られた絢爛豪華な室内の様子など最盛期の館の様子を紹介。さらに、「館で行なわれた行事」では、執り行われた盛大な儀式の内容など、大友館の最新の研究成果を紹介した。

主な展示品

大友館跡出土土師器／大友義統書状／庭園跡出土玉砂利・マツボックリ／礎石／大友館跡出土の青磁器台など威信財／青磁器台・酒海壺など国内伝世品／菊花双鳥文鏡など

会期
平成22年
2月13日(土)
～3月28日(日)



大友館 最前線！

—考古資料と文献史料が語る大友館の実像—



大友義統書状



金細工品

大分市歴史資料館 テーマ展示Ⅳ

豊後国の守護、大友氏の本拠地であった「府内」(現在の大分市)は、戦国時代の町の様子が描かれた古い絵図「府内古図」などを手がかりに現在発掘調査が重ねられ、戦国都市「府内」の姿が日々明らかになっています。中でも、町の中心にあった「大友館」は長年にわたる遺構・遺物などの調査・研究や文献史料の検討から、具体的な様子がわかってきました。本テーマ展示では、最盛期の館のようすや館で執り行われた儀式の内容など、最新の大友館研究の成果をご紹介します。

開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで) **観覧料** 大人200円 高校生100円 中学生以下は無料
休館日 月曜 日曜 祝日の場合は開館。但し第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館日
 祝日の翌日 但し土・日曜の場合は開館



「館のはじまり」



「館の繁栄」



「館の繁栄」



「館で行なわれた行事」

(2) 特別展示

第28回特別展 山ん縄文と海ん縄文ー縄文人のムラのかたちー

縄文人の暮らしやムラの様子が具体的にわかる遺跡として、平成21年2月12日に国史跡に指定された横尾貝塚の重要性を市民の皆さんへ分かりやすく紹介。具体的には、日本各地の主要な縄文遺跡にみられる名産品とマツリの道具を一堂に集め、横尾貝塚が九州を代表する縄文集落遺跡であることを明らかにするとともに、台地や海辺などの里山につくられたムラの様子や、この時代の驚くべき流通の仕組みなどについて紹介した。

なお、会期中の8月23日(日)に植田市民行政センターにおいて、国立文化財機構奈良文化財研究所名誉研究員 岡村道雄氏を招いて、記念講演会「世界にみる縄文文化と横尾貝塚」を開催した。

また、今回の特別展は夏休み期間中の開催ということもあり、「ワークシート」を作成し、市内の小学6年生と中学生に配布した。その他、「大分市文化財だより」を特別展特集号とし作成・配布するなど、広く市民のみなさんに広報した。

会期 平成21年7月10日(金)～9月6日(日)

会場 第2展示室・テーマ展示室

開館日数 51日

入場者数 6,106人 出品点数 210点



開催式典のテープカットの様子



○記念講演会

日時 平成21年8月23日(日)

場所 植田市民行政センター 2階会議室

講師 岡村道雄氏(国立文化財機構 奈良文化財研究所 名誉研究員)

演題 「世界にみる縄文文化と横尾貝塚」

参加人数 140人



記念講演会の様子

展示構成と展示品リスト

番号	表 記	名 称	遺 跡 名	時 代	所 蔵 者
I. 縄文人のムラづくり					
1	姫島の黒曜石	姫島の黒曜石製大型石核	国指定史跡 横尾貝塚	縄文時代早期	大分市教育委員会
2	黒曜石の大きな塊	姫島の黒曜石製大型石核	国指定史跡 横尾貝塚	縄文時代早期	大分市教育委員会
3	姫島の黒曜石でつくられたやじりと穴をあけるドリル	姫島の黒曜石製石鏃	国指定史跡 横尾貝塚	縄文時代	大分市教育委員会
4	姫島の黒曜石でつくられたやじりと穴をあけるドリル	姫島の黒曜石製石錐	国指定史跡 横尾貝塚	縄文時代	大分市教育委員会
5	バスケットに入った姫島の黒曜石	バスケット入り姫島の黒曜石	国指定史跡 横尾貝塚	縄文時代早期	大分市教育委員会
6	横尾のムラの大きな縄文土器	縄文土器深鉢(小池原上層式)	国指定史跡 横尾貝塚	縄文時代後期	大分市教育委員会
7	横尾のムラに運ばれた熊本縄文土器	縄文土器深鉢(南福寺式深鉢)	国指定史跡 横尾貝塚	縄文時代後期	大分市教育委員会
II. 海縄文(海辺の大きなムラと名産品)					
8	クジラの背骨	脊椎板(鯨骨)	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
9	クジラの背骨を台にしてつくられた縄文土器	縄文土器(鯨脊椎骨痕あり)	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
10	西九州のムラで流行した縄文土器	縄文土器	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
11	柄をつけて銚として使った石の道具	石銚	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
12	柄をつけて銚として使った石の道具	石鋸	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
13	石の釣り針	釣針型石器	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
14	シカの角とイノシシの骨をつなげた釣り針	鹿角製釣針	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
15	骨でつくった釣り針	骨製釣針	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
16	サメの歯のペンダント	サメ歯製垂飾	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
17	魚の骨のペンダント	鰓骨製垂飾(スズキ主鰓蓋骨)	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
18	貝のブレスレット	貝輪	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
19	イノシシの牙のブレスレットとペンダント	猪牙製垂飾	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
20	骨のヘアピン	骨製簪	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
21	骨のペンダント	骨製垂飾	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
22	西広のムラのアクセサリ	タカラガイ類加工品(垂飾具)	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
23	タカラガイ加工品の製作工程復元	タカラガイ類加工品	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
24	いろいろなタカラガイ	タカラガイ類標本	—	—	市原市教育委員会
25	西広のムラのアクセサリ	貝輪状垂飾品(ウノアシ製)	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
26	西広のムラのアクセサリ	未加工素材(ウノアシ)	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
27	南の島から運ばれたブレスレット	貝輪(オオツタノハ製)	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
28	西広のムラのアクセサリ	貝製管状垂飾品(ツノガイ製)	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
29	歯と骨でつくったアクセサリ	歯牙製垂飾具	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
30	歯と骨でつくったアクセサリ	骨角製管状垂飾具	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
31	海獣や大きな魚を採った漁具	組合せ式刺突具	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
32	海獣や大きな魚を採った漁具	骨角牙製鏃	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
33	海獣や大きな魚を採った漁具	ヤス状刺突具	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会

番号	表 記	名 称	遺 跡 名	時 代	所 蔵 者
34	海獣や大きな魚を採った漁具	歯牙製釣針	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
35	西広のムラのアクセサリー	土製垂飾具	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
36	西広のムラに運ばれた熊本の縄文土器	縄文土器（阿高式土器浅鉢）	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
37	マツリに使われた縄文土器	縄文土器	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
38	チャートの塊	石核（チャート製）	祇園原貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
39	チャートのやじり	石鏃（チャート製）	祇園原貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
40	高温で焼かれて、ゆがんだ縄文土器	発泡土器	祇園原貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
41	マツリに使われた縄文土器	縄文土器	祇園原貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
42	イノシシ形の土製品	イノシシ形土製品	能満上小貝塚	縄文時代晩期	市原市教育委員会
43	マツリに使われた道具	手燭形土器	能満上小貝塚	縄文時代晩期1	市原市教育委員会
44	マツリに使われた道具	土版	能満上小貝塚	縄文時代晩期	市原市教育委員会
45	マツリに使われた道具	円形土版	能満上小貝塚	縄文時代晩期	市原市教育委員会
46	マツリに使われた道具	縄文土器	能満上小貝塚	縄文時代晩期	市原市教育委員会

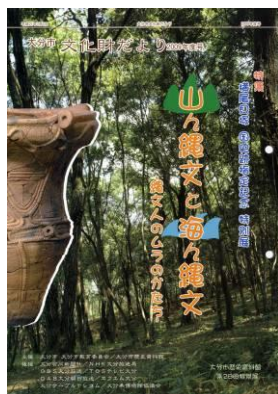
Ⅲ. 山縄文（台地の大きなムラと名産品）

47	漆をいれた容器	漆液容器	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会
48	赤い顔料をいれた容器	顔料容器（破片9点）	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会
49	漆ぬりの櫛	櫛（漆製品）	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会
50	漆ぬりの耳飾り	耳飾（漆塗り土製品）	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会
51	寺野東のムラの縄文土器	縄文土器	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会
52	土製のペンダント	土製垂飾品	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会
53	土製のプレスレット	貝輪状土製品（白色塗彩）	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会
54	土を掘る石の道具	打製石斧	多摩ニュータウン遺跡	縄文時代中期	東京都埋蔵文化財センター
55	土器をかざった縄文人の顔	顔面装飾	多摩ニュータウン遺跡	縄文時代中期	東京都埋蔵文化財センター
56	ヒスイのペンダント	硬玉製太珠	多摩ニュータウン遺跡	縄文時代中期	東京都埋蔵文化財センター
57	多摩のムラの縄文土器	縄文土器	多摩ニュータウン遺跡	縄文時代中期	東京都埋蔵文化財センター
58	冠山の安山岩	安山岩製大型剥片	中ノ坪遺跡	縄文時代前・中期	益田市教育委員会
59	冠山の安山岩	安山岩製調整剥片	中ノ坪遺跡	縄文時代前・中期	益田市教育委員会
60	冠山の安山岩	安山岩製石鏃	中ノ坪遺跡	縄文時代前・中期	益田市教育委員会
61	運ばれた姫島の黒曜石	姫島産大型剥片	石ヶ坪遺跡	縄文時代後・晩期	益田市教育委員会
62	運ばれた姫島の黒曜石	姫島産黒曜石製石鏃	中ノ坪遺跡	縄文時代前・中期	益田市教育委員会
63	運ばれた熊本の縄文土器	縄文土器	石ヶ坪A遺跡	縄文時代中・後期	益田市教育委員会

Ⅳ. 縄文人のムラのかたち

64	多摩のムラの土偶	土偶	多摩ニュータウン遺跡	縄文時代中期	東京都埋蔵文化財センター
65	西広のムラの土偶と土版	土偶	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
66	寺野東のムラの土偶	土偶	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会

番号	表 記	名 称	遺 跡 名	時 代	所 蔵 者
67	赤く塗られた土偶	土偶	祇園原貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
68	祇園原のムラのイヤリング	耳飾	祇園原貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
69	西広のムラの土偶と土版	土版	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
70	寺野東のムラの土版	土版（赤彩）	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会
71	阿高・黒橋のムラの土版	土版	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
72	西広のムラのペンダントとイヤリング	耳飾	西広貝塚	縄文時代後・晩期	市原市教育委員会
73	寺野東のムラのイヤリング	耳飾	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会
74	寺野東のムラの小さな縄文土器	小型特殊土器	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会
75	寺野東のムラのマツリに使った石の道具	石剣・石棒	国指定史跡 寺野東遺跡	縄文時代後期	栃木県教育委員会
76	多摩のムラのアクセサリ	硬玉製太珠	多摩ニュータウン遺跡	縄文時代中期	東京都埋蔵文化財センター
77	匹見のムラのアクセサリ	輩翠製素玉	水田ノ上A遺跡	縄文時代晩期	益田市教育委員会
78	匹見のムラのアクセサリ	輩翠製管玉	水田ノ上A遺跡	縄文時代晩期	益田市教育委員会
79	匹見のムラのアクセサリ	輩翠製白玉	水田ノ上A遺跡	縄文時代晩期	益田市教育委員会
80	匹見のムラのアクセサリ	輩翠製勾玉	ヨレ遺跡	縄文時代晩期	益田市教育委員会
81	匹見のムラのアクセサリ	瑪瑙製白玉	ヨレ遺跡	縄文時代晩期	益田市教育委員会
82	匹見のムラのアクセサリ	輩翠製管玉	ヨレ遺跡	縄文時代晩期	益田市教育委員会
83	匹見のムラの円盤形のアクセサリ	円盤形土製品	水田ノ上A遺跡	縄文時代晩期	益田市教育委員会
84	匹見のムラの円盤形のアクセサリ	円盤形土製品	ヨレ遺跡	縄文時代晩期	益田市教育委員会
85	阿高・黒橋のムラでマツリに使われた動物の骨	イノシシ下顎骨（穿孔あり）	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
86	阿高・黒橋のムラでマツリに使われた動物の骨	シカ下顎骨（穿孔あり）	国指定史跡 黒橋貝塚	縄文時代後期	熊本県教育委員会
87	横尾のムラでマツリに使われたシカの角	鹿角（斧による穿孔あり）	国指定史跡 横尾貝塚	縄文時代前期	大分市教育委員会





会場入口



「Ⅱ. 海ん縄文」(阿高・黒橋貝塚)



「Ⅰ. 縄文人のムラづくり」(横尾貝塚)



「Ⅱ. 海ん縄文」(西広貝塚)



「Ⅰ. 縄文人のムラづくり」(横尾貝塚)



「Ⅱ. 海ん縄文」(展示室風景)



「Ⅱ. 海ん縄文」(阿高・黒橋貝塚)



「Ⅱ. 海ん縄文」(祇園原貝塚)



「Ⅱ. 海ん縄文」(能満上小貝塚)



「Ⅲ. 山ん縄文」(寺野東遺跡)



「Ⅲ. 山ん縄文」(コーナー入口)



「Ⅲ. 山ん縄文」(多摩ニュータウン遺跡)



「Ⅲ. 山ん縄文」(コーナー入口)



「Ⅲ. 山ん縄文」(匹見の縄文遺跡)



「Ⅲ. 山ん縄文」(寺野東遺跡)



「Ⅳ. 縄文人のムラのかたち」

(3) その他の展示

自分史・家族史コーナー

市報(8月1日号)にて展示希望者を募ったが、応募者が一人もなく、本年度は展示を行わなかった。代わりに、市民から寄せられたなつかしい写真(複写)を展示。



大友氏遺跡体験学習館・歴史資料館共同企画展 「戦国時代と大友宗麟ー戦国・大分の町「府内」の姿ー」

会期 7月21日(火)～8月14日(金)

会場 九州電力大分支社屋 1F 憩いの広場

開館日数: 19日 入館者数: 1,962人

大友氏遺跡の発掘調査の成果を通して、戦国時代の大分を多くの市民の皆さんへ紹介する、街中でのサテライト展示を開催した。大友宗麟の活躍した時期を中心に戦国時代や戦国都市「府内」の様子を出土品やパネルにて紹介した。



常設展示(部分) 展示替え

「縄文のコーナー」

●横尾貝塚出土土器などを追加展示。

「弥生のコーナー」

●賀来中学校遺跡出土の壺棺墓の出土状況を復原展示。



●平成21年12月16日に大分市有形文化財に指定された市内出土の青銅破鏡の内、大道遺跡群出土の1点を追加展示。(指定物件8点の内5点を常設展示中)

●大道遺跡群の井戸跡から出土した木製臼の複製品を追加展示。臼は古墳時代の初め頃、年代測定などの分析の結果、西暦290年頃に樹齢107年のクスノキが加工されたもの。水稻農耕との関連から弥生コーナーに展示。



「中世のコーナー」

●豊後府内を彩った南蛮陶磁器として、館所蔵の中国の華南三彩陶器壺・水注などに展示替え。

「民俗のコーナー」

●昭和30年代を中心とした家の内部の様子や学校の様子などの展示替え。

資 料 調 査

平成 22 年度特別展関係調査

平成 22 年度特別展「偉人たちの風貌―大分の肖像展（仮）」の開催にむけた資料調査を下記のとおり実施した。

大阪城天守閣

調査日 平成 22 年 3 月 30 日

調査員 武富雅宣（歴史資料館 副館長）

調査資料

岡藩中川家 4 代当主久盛が建立した高流寺（竹田市城西町 妙心寺派の禅寺）伝来の①古田重然（織部）画像、②蓮水妙清画像の 2 幅。①は画像上方に古田織部の 11 世の孫で岡藩の家老をつとめた古田広計が文化 3 年（1806）に 4 月付けで賛を記す。②は中川秀政の側室で小長（秀政の遺児、中川家の老職古田重直の妻となる）の母を描いたもの。文禄 5 年（1596）の寿像（生前に描いた肖像）で、桃山時代のすぐれた婦人画像である。この他、豊臣秀吉画像、千利休画像、豊臣秀吉木造の資料の調査をしたが、豊臣秀吉画像は他館に出展予定のため貸出は無理とのことであり、残りの 2 つについても大阪城天守閣での展示との関係もあり、保留となった。

（織部）画像、②蓮水妙清画像の 2 幅。



①古田重然（織部）画像
（紙本着色）
（本紙：縦 87.4×横 29.2 cm）



②蓮水妙清画像
（絹本着色）
（本紙：縦 41.8×横 27.4 cm）

平成 22 年度テーマ展示関係調査

平成 22 年度に開催を予定しているテーマ展示 I 「お神楽の世界」の予備調査を実地で聞き取りという方法で以下のように行った。

1. 霜凝神社下郡里神楽保存会

調査日 平成 21 年 1 月 24 日

調査員 細井雅希・阿南希依（歴史資料館 嘱託）

調査概要

霜凝神社下郡里神楽保存会は昭和 49 年に発足した浅草流の神楽である。当神楽社には延年 10 年（1735）に発足したという記録があるが、戦時中に中断された。その後、近隣の神楽社の指導を受け新たな神楽社として復活を果たした。しかし、昔の名残りで、他の神楽社にはない「豊年の舞」「今宮八満縁起神楽」といった独自の演目も伝わっている。



演目「国司」の様子

2. 尾津留神楽

調査日 平成 21 年 1 月 21 日

調査員 細井雅希・阿南希依（歴史資料館嘱託）

調査概要

尾津留神楽は明治 6 年頃、豊後大野市柴山地区から伝承されていた浅草流の神楽である。現在は楽員不足のため、活動を中止して 10 年になるが、活動当時の話を高畑新氏（96）から聞き取り調査を行った。話者の活動時、神楽社の数は少なく戸次から佐賀関の広範囲に出張奉納を行っており、かなりの収入であったため生活面でも神楽は重要な位置をしめていた。また当社は、市内での神楽伝承や衣装の貸し出しを行っており、市内では先駆的神楽社であった。



演目「大蛇退治」の様子

3. 伊与床五柱神社神楽社

調査日 平成21年1月30日・3月14日(例祭当日)

調査員 細井雅希・阿南希依(歴史資料館嘱託)

調査概要

伊与床公民館にて神楽の稽古及び秘伝書の内容を拝見した。当神楽社は明治14年に創始され、市内の深山流神楽の中でも歴史ある神楽社である。演目名、舞いの所作、道具など深山流の形を崩さず現在まで伝承している。現在、17名の楽員が活動しており、週一回伊予床公民館にて稽古を行っている。定期公演は五柱神社で行う、正月の記念祭と春の大祭、10月に行われる深山流交流大会である。その他、年間20回以上、各地域で出張奉納を行っている。当神楽社が所蔵する秘伝書は、明治期の神楽の伝承状況を確認できる市内唯一の文字資料である。内容には、神楽の礼法や各演目の衣装や所作などが細かく書かれている。



演目「八雲払」の様子

4. 片島里神楽・羽田神楽・二目川神楽保存会

調査日 平成21年2月7・14・21日

調査員 細井雅希・阿南希依(歴史資料館嘱託)

調査概要

吉野梅祭りの期間中、吉野神社では各日曜日に神楽の奉納が行われている。平成21年では二目川神楽・片島里神楽・羽田神楽の三神楽社が神楽を奉納した。片島・羽田は浅草流、二目川は深山流の神楽で、昭和20年代以降に創始された神楽社である。浅草流の神楽が市内で数多く活動しており、提灯蛇胴形の大蛇に花火の演出を付け加え、人気をよんでいる。



演目「柴引」の様子(二目川神楽保存会)

5. 市内神楽社アンケート調査

調査員 細井雅希(歴史資料館嘱託)

調査概要

市内の神楽社に関する調査は、2002年時に「温泉・お神楽・おいしんぼ」をキャッチコピーに行われている。その後、平成の大合併に伴い野津原・佐賀閑地域が大分市となったため、これらの地域を含めた神楽社のアンケート調査を行った。アンケート内容は、現在の活動状況をはじめ、楽員数、流派、開始年、伝承先、舞の特徴などである。その結果、市内には20社の神楽社が活動している。この他にも、氏神社のみで活動しており、表に掲載しなくてよいという神楽社が3社あった。この結果により、大分市は神楽の盛んな豊後大野市などの近隣地域と並ぶほど、神楽の活動が盛んであることが確認できた。

また、調査の結果、大分市の神楽は明治期に浅草流の神楽が野津原・大南地域、深山流の神楽が

佐賀関・大南地域にそれぞれ伝承されている。その後、昭和 20 年代・40 年代に各地の青年団が中心となって創始され現在の神楽社の数となっている。

1	長浜神楽保存会
2	二豊神楽社
3	国分神楽社
4	大分神楽社
5	霜凝神社下郡里神楽保存会
6	羽田神楽
7	片島里神楽
8	西寒多子供神楽会
9	小池原神楽
10	二目川神楽保存会
11	上判田米良神楽保存会
12	松岡神楽社
13	日吉子供神楽保存会
14	上戸次こども神楽クラブ
15	伊与床五柱神社神楽社
16	岡倉神楽保存会
17	岡倉こども神楽社
18	白家神楽
19	馬場子供神楽
20	大内神楽社

資料収集

資料収集委員会

1. 会議

開催日 平成 22 年 3 月 16 日

場 所 歴史資料館会議室

議 題 購入予定資料の説明・熟覧・審議

2. 委員会名簿

氏 名	役 職	
豊田 寛三	大分大学教育福祉科学部教授	日本近世史
段上 達雄	別府大学文学部教授	日本民俗学
菊竹 淳一	九州大学名誉教授	日本美術史
鳥井裕美子	大分大学教育福祉科学部教授	日欧交渉史
下村 智	別府大学文学部教授	日本考古学

寄 贈 資 料

- (1) 薬剤天秤 1 点／秤 1 点 薩来正明氏
- (2) 小・中・高校用音楽科教科書 7 冊 佐藤充実氏
- (3) マント 1 点／軍隊常用服ズボン 1 点／軍服 2 点／戦時銀行史料 1 点 工藤総明氏
- (4) 石工道具一式 佐藤文男氏
- (5) 畳織道具 15 点 阿南義光氏
- (6) 扇風機 1 点／ラジオ 1 点 大久保公治氏
- (7) 唐箕 1 点／田植え板 1 点／鋤 2 点／洗い貼り板 2 点／ジョウゴ 1 点／篩 1 点／水引飾り（木箱入り）／六尺棒 1 点／筵編み機 1 点／ミルク缶および運搬棒 1 点／根取り鋤 1 点／突き棒 1 点／バラ板 8 点／かき出し棒 1 点／豆炭アンカ 2 点／肥搔 1 点 真部基喜氏
- (8) プラスチック水筒 1 点 梶取憲二氏
- (9) ハリ板 2 点／角枅 1 点 杉原モト氏
- (10) 鋸 3 点／一升枅 1 点／編み機 2 点／昭和の読売新聞 1 枚 河野チェコ氏
- (11) 蒸籠 1 点 奥本靖文氏
- (12) 雛人形 1 式 片岸長俊氏
- (13) 軒丸瓦 1 点 河野國人氏
- (14) 『薄れゆく悲劇—西部ニューギニア戦線』 1 冊 池見坦 氏
- (15) 『私たちの青春：激動の昭和史』 松本嘉三氏

(16) 軍隊手帳

佐藤長蔵氏

(17) 『練習兵用 物理学教科書』／『科学教科書』

藤原巧氏

購 入 資 料

中村家文書

全 8 通

番号	史料名	寸 法 (cm)
①	大友吉統安堵状 (中村松寿宛)	縦 28.6×横 37.2
②	大友吉統書状 (中村左京亮宛)	縦 29.2×横 42.7
③	中村左京亮鎮宥置文 (松寿宛)	縦 18.9×横 79.5
④	菊池尚哲武機覚書	縦 15.7×横 46.8
⑤	能見松平重休知行充行状 (菊池惣次郎宛)	縦 35.7×横 49.3
⑥	能見松平重交充行状 (菊池惣次郎宛)	縦 35.7×横 49.3
⑦	能見松平親盈知行充行状 (中村甚五右衛門宛)	縦 36.0×横 49.2
⑧	能見松平親榮知行充行状 (中村清次郎宛)	縦 40.2×横 55.2

菊池氏系中村家の古文書 8 通。天正 6 年 (1578) 3 月吉日付けの中村左京亮鎮宥置文 (史料③) によると、中村家は肥後国の菊池氏の系譜を有し、置文を記した鎮宥は、菊池氏 21 代当主菊池重朝 (1449－1493) の曾孫とされている。また、鎮宥の父左京亮重政は、大友義鑑 (1502－50) と菊池氏 26 代当主重治 (義鑑の同母の弟。永正 17・1520 年菊池氏を継ぐ。国武、義宗、義国、義武とも称す) が不和となった折に豊後に移り、重治の亡くなる頃に肥後國中村 80 町の所領に戻り、以後「小身」という理由から菊池の姓を名乗ることを止め、「中村左京」と号したとある。その後、重政は天文 19 年 (1550) の戦で討死し、同家は肥後国にあった本領全てを失ったと記されている。

置文の作者である鎮宥は、父重政亡き後、大友家に仕え、8 月 19 日付け大友吉統安堵状 (史料①、天正 16～17、1588～589 年発給) によれば、府内下市の居屋敷をはじめ、清田郷に 30 貫、緒方荘

に 32 貫、高田荘に 3 貫、笠和郷に 6 段、山香郷に 30 貫の所領を得ていることが分かる。そして、それらの所領等は鎮宥の息子の中村松寿に譲られ、大友家 22 代当主吉統から安堵されている。

鎮宥の跡を継いだ中村松寿は、安永 9 年 (1780) に書かれた菊池尚哲武機覚書 (史料④) によれば、中村重周といい、17 歳で早世した人物とある。10 月 10 日付の大友吉統書状 (史料②、天正 19・1591 年) によれば、吉統は、中村左京亮こと、中村重周に対して当知行の所領の「万雑諸点役」の免除と「検断不入」の特権を与えている。

田北学編『増補訂正編年大友史料 二八』に収められている「太閤朝鮮征伐ニ付、義統豊後侍着到記」の史料 (275 号文書) によると、大友吉統 (義統) に従い朝鮮へ渡った家臣団の中に「中村左京亮」の名前が記されている。また、「大友文書録 四」(『大分県史料 (34)』) によれば、文禄 2 年 (1597) 5 月の大友吉統の改易にともない、朝鮮へ渡った吉統の家臣は、生駒近則・蜂須賀家政・黒田長政・福島正則・戸田民部・立花宗茂・毛利吉成等の諸将につけられ、このとき中村左京亮は大神兵部少輔以下 301 人の一人として福島正則に付けられている。

恐らくここにみえる「中村左京亮」なる人物が上記覚書にみえる中村重周と考えられ、彼が豊臣

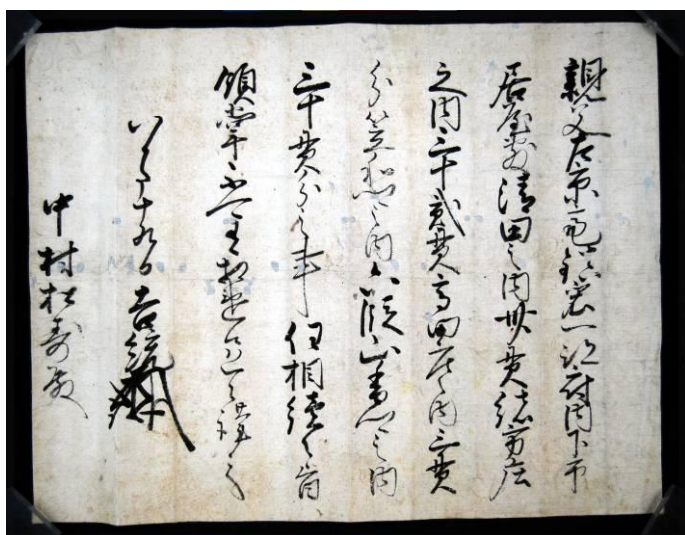
秀吉の第一次朝鮮侵攻において主君大友吉統とともに朝鮮へ渡り、吉の改易の時点では生存していたことが分かる。その後、帰国の途につき、先の菊池尚哲武機覚書にあるように 17 歳の若さで亡くなったものとみられる。上記覚書には、その跡を弟である重信が継いだとある。

その後の中村家の動向については、はっきりした事はよく分からないが、正徳 4 年 (1741) 5 月日付の能見松平重休知行充行状 (史料⑤)

や、享保 7 年 (1722) 正月吉日付の能見松平重交充行状 (史料⑥) などから、同家は少なくとも江戸時代中期には杵築藩能見松平家に仕え、100 石の知行地を与えられていたことが分かる。

特に先の大友吉統安堵状は、中村左京亮鎮宥という武士が、少なくとも天正 17 年 (1589) 8 月時点において「府内下市」町 (現大分市錦町 1・2 丁目) の一面に屋敷を有し住んでいた事実と、その屋敷が相続の対象とされるような私有性の強い空間であったことを示す貴重な内容である。戦国時代の豊後府内町の武家屋敷の有り様を知る上で大変注目される。

また、中村左京亮鎮宥置文は、大友氏と島津氏が雌雄を決した天正 6 年 (1578) の高城・耳川合戦を前に、中村家の行く末を子孫に託した珍しい内容である。



史料① 大友吉統安堵状

① 大友吉統安堵状

親父左京亮鎮宥一跡、府内下市居屋敷、清田之内卅貫、緒方庄之内三十式貫、高田庄之内三貫分、笠和郷之内六段、山香郷之内三十貫分之事、任相続之旨、領掌不可有相違候、恐々謹言

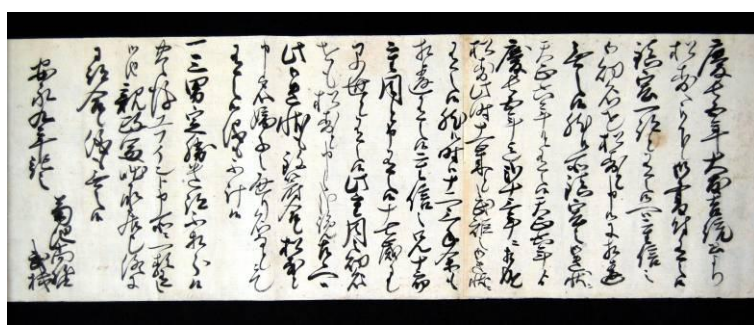
八月十九日 吉統 (花押)

中村松寿殿

史料① 大友吉統安堵状 (書き下し)



史料② 大友吉統書状



史料④ 菊池尚哲武機覚書

④ 菊池尚哲武機覚書

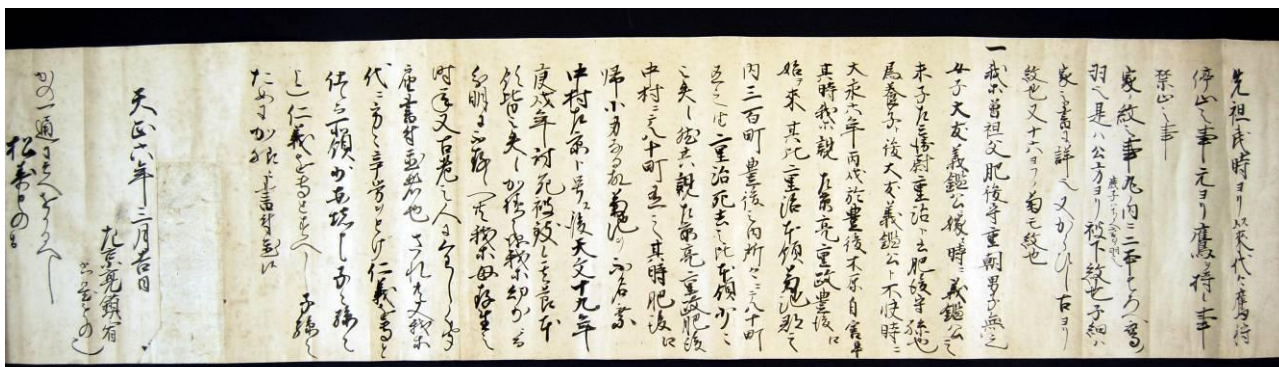
慶長五年、大友吉統公より
松寿へ被下候御書付有之候、
鎮有一跡と有之候へハ、重信之
御幼名を松寿と申候に相違
無之候、然ル所、鎮有之御き状二
天正六年と有之候、天正六年より
慶長五年迄式十三年二相成候、
松寿此時十一歳と、武矩之御き状二
有之候、然ル時ハ十二、三年余も
相違有之候、重信之兄十郎
重周と申有之候、十七歳にて、
早世し有之候。此重周之幼名
をも松寿と申候哉、左候へハ、
此御き状も致符合候、松寿と
申名、嫡子之通り名などにて
有之候儀も不計候、
一、三男定勝遺跡不相分候、
豊後ユフイント申所二一類有之
候由、親政富咄承居申候、終に
尋合候儀も無之候
菊池尚哲
武機
安永九年記之

② 大友吉統書状

其方当知行分、万難諸点役
令免許、殊可為検断不入候、
併此方於用所者、可被遂馳
走事肝要候、恐々謹言
十月十日 吉統（花押）
中村左京亮殿

史料② 大友吉統書状（書き下し）

史料④ 菊池尚哲武機覚書（書き下し）

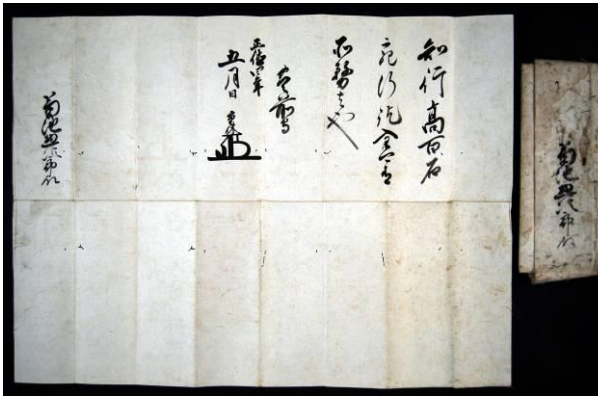


史料③ 中村左京亮鎮有置文

③ 中村左京亮鎮有置文

先祖武時ヨリ以来、代々鷹狩
停止之事、元ヨリ鷹ヲ持候事
禁止之事
家ノ紋之事、丸ノ内ニ二本そろへ鷹ノ
羽也、是ハ公方ヨリ被下紋也、子細ハ
家之書に詳也、又からひし古ヨリ
紋也、又十六ヨフノ菊モ紋也
一、我等曾祖父肥後守重朝男子無之、
女子大友義鑑公ニ嫁ス、時ニ義鑑公之
末子左兵衛尉重治ト云、肥後守孫也、
為養子ト、後大友義鑑公ト不快、時ニ
大永六年丙戌、於豊後木原自害畢
其時、我等親左京亮重政、豊後江
始テ来、其比、重治本領菊池郡之
内三百町、豊後之内所々ニテ八十町
有之由、重治死去之比、本領少々
被失候、然共、親左京亮重政、肥後
中村ニテ八十町有之、其時肥後江
帰、小身なる故、菊池ヲ不名乗、
中村左京ト号ス、後天文十九年
庚戌年討死被致候、其節本
領皆被失候、加様之儀、我等幼少ニ而
分明に不存候へ共、我等母存生之
時年、又古老之人にくわしく聞
届、書付置者也、され共、又我等
代ニ方々辛勞ヲとげ、仁義を專と
仕候而、所領少安堵申候、子々孫々
迄、仁義を專とすへし、子孫之
ために加様ニ書付置候
天正六年三月吉日
左京亮鎮有
書置もの也
かの一通にそへをかるへし
松寿との 参

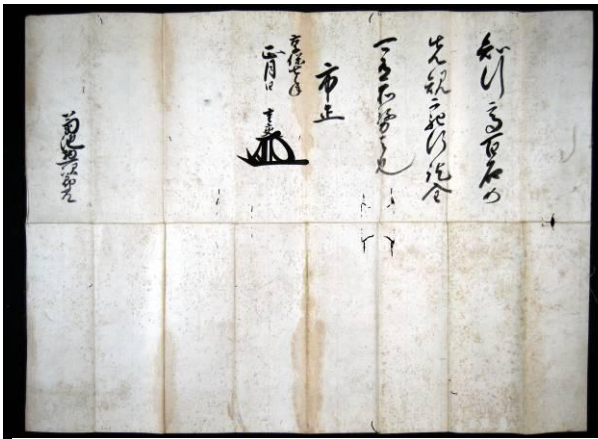
史料③ 中村左京亮鎮有置文（書き下し）



史料⑤ 能見松平重休知行充行状

(*包紙あり)
 ⑤能見松平重休知行充行状
 知行高百石、
 充行訖、全可有
 所務者也
 豊前守
 正徳四年
 五月日 重休 (花押)
 菊池惣次郎殿

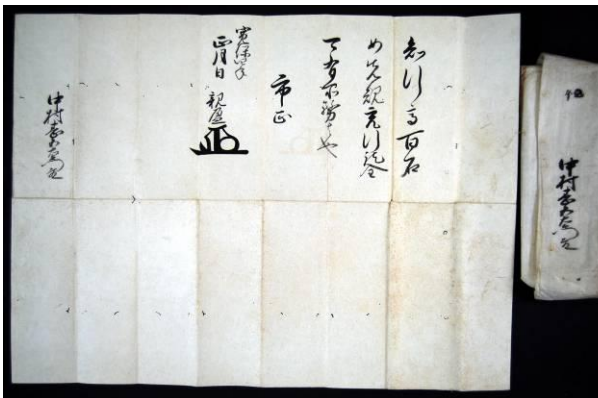
史料⑤ 能見松平重休知行充行状 (書き下し)



史料⑥ 能見松平重交充行状

⑥能見松平重交知行充行状
 知行高百石、如
 先規、充行訖、全
 可有所務者也
 市正
 享保七年
 正月日 重交 (花押)
 菊池惣次郎殿

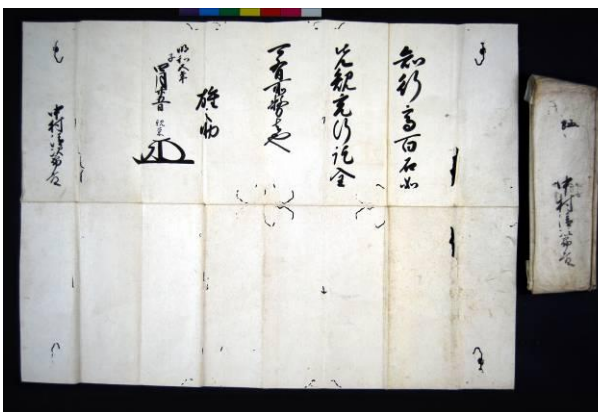
史料⑥ 能見松平重交充行状 (書き下し)



史料⑦ 能見松平親盈知行充行状

(*包紙あり)
 ⑦能見松平親盈知行充行状
 知行高百石
 如先規、充行訖、全
 可有所務者也
 市正
 寛保四年
 正月日 親盈 (花押)
 中村甚五右衛門殿

史料⑦ 能見松平親盈知行充行状 (書き下し)



史料⑧ 能見松平親榮知行充行状

(*包紙あり)
 ⑧能見松平親榮知行充行状
 知行高百石、如
 先規、充行訖、全
 可有所務者也
 雄之助
 明和五年
 子四月廿五日 親榮 (花押)
 中村清次郎殿

史料⑧ 能見松平親榮知行充行状 (書き下し)

教 育 普 及 活 動

ふるさとの歴史再発見

高校生以上を対象に、歴史、考古、民俗・文化史、古文書の4コースの講座を下記の日程で開講。
定員：70名 / 受講料：各コース300円 / 時間：14時～15時30分

(1) 歴史のコース 期間 5月～7月 第1～3土曜日 受講申込者数(78人)受講者総数(507人)

実施日	内容	講師	受講者
5月2日	中世の杵原八幡宮の造営と建物について	武富雅宣 当館職員	62人
9日	戦時中の学校生活	植木和美 大分市教育委員会文化財課	54人
16日	長曾我部境争論	大平直子 当館職員	60人
6月6日	江戸時代の仏教	櫻井成昭氏 大分県立歴史博物館主任学芸員	61人
13日	大分市の文化財保護	姫野公德 当館職員	52人
20日	太閤検地をめぐる豊後の情勢	武富雅宣 //	59人
7月4日	堀梯吉と山本五十六	安田晃子氏 大分県立先哲史料館主幹研究員	58人
11日	蘭化先生	佐藤香代氏 大分県立先哲史料館主幹研究員	47人
18日	臼杵藩の航路絵図について	岡村一幸氏 臼杵市文化財課主任	54人

(2) 考古のコース 期間 8月～10月 第1～3土曜日 受講申込者数(96人)受講者総数(553人)

実施日	内容	講師	受講者
8月1日	駅南事情～こんなのでてます～	中西武尚 当館職員	84人
8日	世界が認めた大分市の文化財ー横尾貝塚ー	塩地潤一 大分市教育委員会文化財課	61人
15日	絵画にみる生活の跡ーこの穴は何か？ー	中西武尚 当館職員	55人
9月5日	火山噴火で埋もれた遺跡	廣瀬育子 大分市教育委員会文化財課	64人
12日	水田考古学ー玉沢地区条里跡ー	奥村義貴 大分市教育委員会文化財課	53人
19日	「遺跡が語るおおいの旧石器時代から近代まで」のみどころ	村上久和氏 大分県教育庁埋蔵文化センター	63人
10月10日	大地の記憶からたどるすまいのはなし	稗田智美 大分市教育委員会文化財課	59人
17日	古代のやきもの工房	友岡信彦氏 大分県教育庁埋蔵文化センター	59人
24日	邪馬台国と大分の弥生時代遺跡	坪根伸也 大分市教育委員会文化財課	55人

(3) 民俗・文化史のコース 期間 11月～12月 第1～3土曜日 受講申込者数(69人)受講者総数(309人)

実施日	内容	講師	受講者
11月7日	江戸後期の県大分市の民間信仰	細井雅希 当館職員	58人
14日	大分の畳屋さん	阿南希依 //	49人
21日	大分の禅宗寺院	三谷紘平氏 別府大学文化財研究所非常勤研究員	46人
12月5日	旅行の文化史ー観光パンフレットから見る近代の別府と九州ー	大山琢央氏 別府大学文学部非常勤講師	54人
12日	大分のおそうしきー消えゆく葬送儀礼ー	古瀬美鈴 当館職員	53人
19日	国東の大絵馬	菅野剛宏氏 大分県立歴史博物館主任学芸員	49人

(4) 古文書のコース 期間 1月～3月 第1～3土曜日 受講申込者数(99人)受講者総数(710人)

実施日	内容	講師	受講者
1月9日	三浦家文書「豊後国大分郡高松村と原村浦方出入逐吟味申渡覚」	武富雅宣 当館職員	90人
16日	//	武富雅宣 //	80人
30日	//	大平直子 //	82人
2月6日	三浦家文書「受取申別府浦安兵衛船諸道具之覚」	大平直子 //	75人
13日	//	大平直子 //	80人
20日	三浦家文書「請取申船道具之覚」・「浦手形」	武富雅宣 //	78人
3月6日	三浦家文書「一札之事」「借用申銀子之事…今度当村鯨ひろい」	大平直子 //	73人
13日	//	大平直子 //	74人
20日	//	大平直子 //	78人

ふるさとの歴史再発見受講者総数 2,079人

学校・団体の利用

大分市内の小中学校を中心に子ども会やP T A、家庭教育学級、児童育成クラブなどさまざまな団体による体験活動の利用があった。

☆移動講座（移動歴史教室）

歴史体験学習をより多くの学校、団体に活用してもらうために、依頼のあった学校や公民館へ出かけて体験学習を実施した。

〈学校・団体体験活動利用数〉

	利用団体数				利用者数				合計
					資料館		移動講座		
	学校	団体	移動	合計	児童・生徒	大人	児童・生徒	大人	
4月	0	2	0	2	30	9	0	0	39
5月	6	1	4	11	328	31	369	26	754
6月	5	0	10	15	259	63	776	145	1,243
7月	3	2	6	11	54	66	309	67	496
8月	0	8	0	8	205	64	0	0	269
9月	6	1	2	9	567	55	152	41	815
10月	28	0	5	33	1,965	161	162	118	2,406
11月	9	1	5	15	544	58	504	199	1,305
12月	6	3	3	12	207	68	163	44	482
1月	6	0	3	9	692	46	254	18	1,010
2月	10	4	3	17	765	97	191	44	1,097
3月	2	0	2	4	68	7	210	19	304
計	81	22	43	146	5,684	725	3,090	721	10,220

ふれあい歴史体験講座

親子や一般市民を対象に、下記の歴史体験講座を実施。

時間：午前9時30分～／午後2時～

回	実施日(土曜日)		内容	参加者数		
				子ども	大人	計
1	4/25	午前・午後	管玉・丸玉作り	54	53	107
2	5/16	午前	土笛作り	12	16	28
3	5/30	午前・午後	ねんど埴輪作り	41	31	72
4	6/13	午前	土偶作り	23	25	48
5	6/27	午前・午後	勾玉作り	92	64	156
6	7/11	午前	縄文かご編み	11	24	35
7	8/ 8	午前	管玉・丸玉作り	32	20	52
8	9/12	午前	土面作り	6	7	13
9	9/19	午前・午後	ねんど埴輪作り	11	13	24
10	9/26	午前・午後	勾玉作り	55	31	86
11	10/10	午前	土笛作り	36	27	63
12	10/24	午前	遺跡発掘体験	29	25	54
13	11/14	午前	古代火起こし	20	16	36
14	11/28	午前・午後	勾玉作り	72	51	123
15	12/12	午前	縄文土器作り	15	24	39
16	12/26	午前・午後	和風作り	46	27	73
(15)	1/10	午前・午後	縄文土器焼き	12	20	32
17	1/23	午前・午後	勾玉作り	97	68	165
追加	1/24	午前	勾玉作り	11	11	22
18	2/13	午前	管玉・丸玉作り	43	29	72
19	2/27	午前・午後	土笛作り	85	62	147
20	3/13	午前	火起こし	32	23	55
21	3/27	午前・午後	勾玉作り	77	62	139
追加	3/28	午前	勾玉作り	41	34	75
合 計				953	763	1,716



第12回遺跡発掘体験



第16回和風作り

体験講座	材料費
勾玉作り	200 円
ねんど埴輪作り	210 円
土笛作り	50 円
管玉・丸玉作り	260 円
和風作り	300 円
縄文かご編み	300 円
縄文土器作り	300 円
土面作り	120 円
土偶作り	170 円

昔のおもちゃで遊ぼう！

子どもの日に豊後国分寺跡史跡公園にて、昔ながらの手作りおもちゃで遊んでもらう体験講座を実施。

実施日：5月5日（火） 9時～16時

料 金：無料

内 容：昔のおもちゃ（折り紙飛行機・割箸紙飛行機・竹トンボ・ブーメラン・竹馬・竹カップ・こま・竹弓矢・羽子板・シャボン玉・水鉄砲・竹アーチェリー・ゴム鉄砲・切り紙・糸電話・ぬりえ・数珠玉・お手玉・おはじき）

参加者：292人（大人146人／子ども146人）

七夕飾りを作ろう！

七夕の日に向けて、七夕の飾り付けを楽しんでもらう講座を実施。

今年度は特別展と日程が重なったために日を定めず、短冊や飾りを準備し来館者にそれぞれ笹竹に飾り付けてもらった。

勾玉作り教室

夏休み期間中の5日間、事前申込不要で、随時勾玉作りを楽しんでもらえる講座を実施。

受付時間：9時～11時、13時～15時

材 料 費：1セット 200円

回	実施日	参加者数		
		子ども	大人	計
1	7/25(土)	69	122	191
2	26(日)	86	125	211
3	8/ 2(日)	91	123	214
4	9(日)	158	209	367
5	16(日)	141	193	334
合 計		545	772	1,317

夏休みジュニア歴史講座

小中学生を対象に、古代の人々の知恵や技術に触れてもらう体験講座を、2日間連続で実施。

実施日：7月30日・31日 13時30分～16時

内 容：土笛作り、明るさ体験、古代火起こし
勾玉作り

実施日	参加者数		
	子ども	参 観	計
7/30(木)	44	14	58
31(金)	43	15	58
合 計	87	29	116

資料館体験学習講習会

夏休み期間中に小・中学校教諭を対象に資料館の体験活動を紹介する講習会を2回実施。

時 間：9時30分～16時

内 容：資料館体験活動の紹介・体験実践

回	実施日	参加者数
1	7/28(火)	12
2	8/ 7(金)	18
合 計		30

子ども1日学芸員

博物館の仕事に興味のある小中高生を対象に、歴史資料館の仕事を体験する講座を実施。

実施日：8月19日（水） 9時30分～16時

内 容：展示室の清掃と温湿度計交換

土器の拓本体験、体験活動準備・実践

実施日	参加者数			
	小	中	高	計
8/19(水)	11	2	0	13

展示解説講座

テーマ展示及び特別展の展示品や内容をスライド等で解説する講座を実施。

時 間：14時～ 料 金：無料

実施日 (日曜日)	内 容	参加者
4/26	テーマ展示Ⅰ解説	4
7/19	特別展解説	27
9/27	テーマ展示Ⅱ解説	28
12/13	テーマ展示Ⅲ解説	20
2/28	テーマ展示Ⅳ解説	31
合 計		110

ビデオライブラリー

一般入館者への視聴サービスとして、館蔵ビデオの上映サービスを実施。

時 間：随時 料 金：無料

月	視聴者数		
	子ども	大人	合計
4 月	8	1	9
5 月	9	185	194
6 月	11	178	189
7 月	123	201	324
8 月	22	208	230
9 月	36	212	248
10 月	113	190	303
11 月	3	163	166
12 月	0	159	159
1 月	17	278	295
2 月	4	237	241
3 月	37	319	356
合 計	383	2,331	2,729

ミュージアム・シアター

16mmフィルムやビデオの上映により、映像から歴史に触れてもらう上映会を実施。

時 間：13時～ 料 金：無料

実施日	内 容	人 数		
		子ども	大人	合計
4/26	わざとちえー産業近代化のあゆみ まんが日本昔ばなし 「八郎湯の八郎／猿の恩返し」	4	5	9
5/24	発掘－吉野ヶ里遺跡 まんが日本昔ばなし 「塩ふきうす／あとかくしの雪」	2	4	6
6/28	古墳のころ まんが日本昔ばなし 「羅生門の鬼／大歳の火」	7	2	9
7/19	縄文時代 まんが日本昔ばなし 「雪女／岩屋の娘」	3	3	6
8/23	飛鳥と奈良の都 まんが日本昔ばなし 「かしき長者／ソラ豆の黒いすじ」	5	3	8
9/27	御城下絵図～浜の市の賑わい まんが日本昔ばなし 「小太郎と母龍／オオカミと娘」	6	11	17
10/25	国宝「源氏物語絵」 まんが日本昔ばなし 「タヌキと彦一／ねずみの嫁」	3	11	14
11/22	絵図にしのぶ江戸の暮らし まんが日本昔ばなし 「花咲か爺さん／夢を買う」	13	12	25
12/13	地図に見る大分の今と昔 まんが日本昔ばなし 「さるかに合戦／たのきゅう」	0	15	15
1/24	東京－大江戸の春 まんが日本昔ばなし 「桃太郎／豆つぶころころ」	2	5	7
2/28	今よみがえる大友の息吹 まんが日本昔ばなし 「わらしべ長者／田植地蔵」	0	25	25
3/28	信長・秀吉・家康 まんが日本昔ばなし 「浦島太郎／絵婆女房」	10	10	20
	合 計	55	106	161

刊行物

名 称	規格	頁数	部数
歴史資料館ニュース 87号	A4	4	6,000
〃 88号	A4	4	6,000
〃 89号	A4	4	6,500
〃 90号	A4	4	6,500
大分市歴史資料館年報 2009	A4	21	500
特別展図録	A4	48	1,000

資料の利用・貸出

(1) 資料の利用提供

件 名	件数
熟覧・写真撮影	63 件
テレビ撮影	5 件
印刷物掲載・写真貸与	21 件

(2) 資料の貸出

団 体 名	展示会名	点数
西南学院大学博物館	「キリスト教伝来と 栄華-大分のキリシタ ン信仰」	7 点
武雄市教育委員会	「戦国の九州と武雄」	5 点
㈱大分放送	夏休み子供スペシャ ル「大恐竜展」	5 点

広報事業

(1) 平成 21 年度は、以下の施設等に体験活動の利用案内及び、総合案内・歴史資料館ニュースの配布・掲示のPR活動を実施。

学 校	小・中学校	87 校
	高等学校、大学	53 校
行 政 ・ 博 物 館	地区・校区公民館	47 カ所
	J R 駅関係	15 カ所
	支所・出張所	8 カ所
	その他市関連施設	34 カ所
	県内自治体等	48 カ所
	博物館等	171 カ所
	賀来地区自治会（毎月）	21 地区
そ の 他	市政記者クラブ（随時）	21 社
	その他施設等	29 カ所

大分市歴史資料館総合案内
2009.4～2010.3 OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

展覧会 講座等 体験講座

テーマ展示 I
ふるさとと歴史再発見
ふるさとと歴史再発見
ふるさとと歴史再発見

テーマ展示 II
大分の近代史
大分の近代史
大分の近代史

テーマ展示 III
大分の近代史
大分の近代史
大分の近代史

テーマ展示 IV
大分の近代史
大分の近代史
大分の近代史

特別展
山本徳文と海軍文庫
山本徳文と海軍文庫
山本徳文と海軍文庫

利用案内
開館時間 9時から17時（入館は16時30分まで）
休館日 月曜日、土曜日（月曜日の場合は翌日が休館）
観覧料 大人 200円（中学生以下 100円）
特別展観覧料 大人 200円（中学生以下 100円）
特別展観覧料 大人 200円（中学生以下 100円）

お問い合わせ
大分市歴史資料館
大分市歴史資料館
大分市歴史資料館

大分市歴史資料館
大分市歴史資料館
大分市歴史資料館

平成 21 年度 大分市歴史資料館研修報告書

研修生 大分市立植田西中学校

教諭 由良 一郎

1. 研究主題

「地域の歴史教材を取り入れ、論理的思考力を育む社会科学学習のあり方について。」

～学力世界一のフィンランドの学習法を取り入れて～

2. 主題設定の理由

新指導要領の改訂が進み、社会科学学習が大きく変わることが予想される昨今、学力向上が至上命題のように叫ばれているが、学力をどのように捉えるのかを間違えると、大きく道を踏み外すことになりかねない。我が国は、学力テストで学校ごと、都道府県ごとの達成度（平均点）を公表し競争の原理を持ち込むことで学力の向上を成し遂げようとしているようである。しかし、OECDが行ったPISA（国際学力調査）のテストにおいて数学・科学・論理的思考力で総合1位を獲得したフィンランドは、テストや受験戦争などの競争とは全く正反対の、日常の授業の中の学習法で成果を上げているのである。このテストで日本が大きく差を付けられているのが論理的思考力（新指導要領では読解力や言語能力という言葉で表している。）である。文部科学省も言語能力を新指導要領に盛り込んだところを見ると、この能力の重要性は気づいているようだが、生徒と生徒を競わせるような日本では、他者とのコミュニケーションの中で影響しあい、力を伸ばす学習法は根付かないし、成果を上げられないことが心配される。

フィンランドが取り入れた授業の手法やアイデアには、我々日本の多くの教師が望む、楽しくて活気があり、多くの生徒が参加する、そんな授業がある。国語や社会、その他の教科の学習規律にフィンランドの手法を取り入れれば、退屈で教師が一方的に進める講義式の授業から脱却できるのである。これを社会科学学習の中で取り入れることができるか？を研究のテーマに据え、2つの観点から研究を進めたいと考える。①「論理的思考力を育む言語活動を用いた習得学習のあり方と、論理的思考力を伸ばす、疑問形の学習テーマを用いた活用学習のあり方。」である。

また②として、地域の歴史学習の拠点である大

分市歴史資料館で研修を積むチャンスを与えられたので、日本全体の歴史と、大分の歴史を融合した「歴史上の大事件や転換期～その時大分（豊後）は、どう動いたか？」というテーマで地域教材を作成していきたいと考える。これは教科書に出てくる大事件や出来事を学ぶだけでなく、その当時大分から事件や出来事に関わった人物を調べることで、より歴史的事象に興味・関心を呼び起こし、大分からもこんな人たちが関わりを持っていたのかと驚きをもって歴史を見るようになるであろうと考え、研修テーマに掲げた。

そして自分の専門性を深める研修として、歴史資料館の館内・館外の活動を通して歴史学習の普及と広報活動、史跡見学などの研修も同時に行っていきたい。

この研修で子どもたちが生き生きと活動し、自分の意見を述べる場面がふんだんにある授業が増えることを目指して研究していきたい。

3. 研究内容

研究にあたっては大分市歴史資料館の活動を中心にしながら、専門書を読み、ビデオライブラリーのビデオを視聴し、学芸員から歴史的専門知識の指導を受けたいと考える。そしてフィンランドの学習方法を取り入れた、授業で使える資料を作成したい。研修の柱は「論理的思考力を育む言語活動を用いた習得学習」「疑問形の学習課題を用いた活用学習」「歴史教科書に登場する出来事と大分の関わり」、の3つを中心に進めていきたい。

4. 研究の成果と課題

(1) 言語活動を用いた社会科学学習のあり方と疑問形の学習課題を用いた活用学習。

フィンランドの学習法の基礎編ともいうべき手法を調査し、日常の授業の中で10分程度、または朝自習や学級活動の中で言語能力を高めるための取り組みをまとめた。社会科でこの手法を取り入れるため社会的な語句や人物でアレンジを加え、毎日少しずつ取り入れていけば生徒の論理的思考力を伸ばしていける活動となっている。この方法を導入すれば教師が一方的に話し、生徒はノートに黒板を写し、説明を聞くという受け身の授業から脱却できる手立てになるであろ

う。

また、疑問形の学習課題を用いた活用学習の研究では、社会科学学習の一単位または一時間を貫く疑問形の学習課題をたくさん集め、授業実践に役立てたいと考えたが、社会科の三分野すべての学習課題を集めるには少し無理があった。歴史的分野に関しては多くの文献と学芸員さんの豊富な知識によって探すのに苦労はなかったが、地理的分野、公民的分野の学習課題は県立図書館や新聞、雑誌、市報や官公所のホームページ、発行物を頼りに探した。それら学習課題の中からいくつか紹介したいと思います。

地理的分野「大分市民は日本一鶏肉好き、その理由を探ろう。」歴史的分野「歴史的大事件と大分の関連を調べよう。～その時、豊後（大分）はどう動いたか？～」公民的分野「少子化問題、どうすれば少子化を止められるか？」など、課題に対して生徒は予想を立て、調査し自分の意見が正しいのか、他の人の意見と比較・検討していく中で社会的な思考力や論理的思考力を養っていく学習課題になっている。さらに「これからどうすればよいのか」を考えていく中で、公民的な資質を養って行ける要素も持っている。

(2) 歴史上の事件や転換期と大分のかかわり

歴史上の重要な事件や転換期に大分の人物や、事件が大きくかかわっていることに驚いた。日本の歴史の中には出てこないが大分の人物がその出来事に果たした役割は、脇役ではなく主役級の活躍をしている者もたくさんいた。また言語活動を取り入れた指導案作りでは、歴史分野のいくつかの単元で豊後（大分）の人物や事件名を生徒が調べ、歴史的大事件とのかかわりを知り、それを他の生徒に説明、解説することで言語能力の育成を図る授業ができる資料が収集できた。さらに教科書の中の中央の歴史が、身近な大分の人物や、遺跡、事件名を知ることで、より詳しく郷土の歴史と中央の歴史を融合して学ぶことにつながると考える。

(3) 自分の専門性を深める研修

①各種講座への参加（館内研修）

講座には講演を聞く「ふるさとの歴史再発見講座」と、モノづくりをする「ふれあい歴史講座」の2種類の講座がある。前者は、歴史、考古、民俗・文化史、古文書の4つのコースに分かれその

道の専門の講師を招聴しお話を聞いた。とくに地元の古いお寺や神社の歴史の古さに触れたことは有意義であった。また後者の「ふれあい」では勾玉作りや土器焼き、火おこし、発掘など多く体験をし、多くの技術を身につけることができた。これらの技術は学校現場に帰っても生かしていきたいものである。

②国・県・市指定史跡見学（館外研修）

フィールドワークとして大分市内にある神社・仏閣、史跡、古墳など可能な限り見学することができた。中でも賀来から椎迫にかけて国指定、県指定の古墳が多いのには目を見張った。また元寇で活躍した大友頼泰の墓が七瀬の公園の近くにあったのは新鮮な発見であった。大分市外でも多くの博物館に休日や出張の際に行く習慣ができた。

③文化財の調査の同行、保存、展示の補助

民具の測量や登録の作業を行った。また一般の方の蔵から「古いものが出たので見に来てほしい。」などの要請に同行して、価値があるかどうか、判断する目利きのようなこともおこなった。

特別展やテーマ展示では展示品を他の博物館から借りてきたり、館蔵の資料の展示作業を学芸員の方と一緒にを行った。計画の中心となる担当者は、何ヶ月も前から調査や展示物の構想、貸し出しの依頼などに莫大な時間を要していた。

大分市の文化財課の施設である歴史資料館は、有形・無形のあらゆる歴史的価値のあるものを保存・記録し、残せるものは残し、資料館で見たり聞いたり、触れたり、感じたりできるようにする。そんな文化財保護の一端に関わることができたのは有意義な体験であった。

5. 今後の課題

多くの先生が地域資料を探しているのに、その時間と、余裕と、どこで学べばよいのか知らない現状にある。これからは「博物館との連携」ということが必要な時代になっているが、まだまだ歴史資料館を活用しきれていない点が課題である。大分市の文化財の調査、保護、普及活動を行っている施設として、中学生に紹介し、歴史の中で調べ学習の調査、質問先として歴史資料館を活用したいと思います。

歴史資料館利用状況

月別観覧者数

単位:人

年／月	開館日数	観覧者数									講座室利用者数								総合館計者
		一般				団体				合計	一般		資料館講座			映画会		合計	
		大人	高校生	中学生	小学生	大人	高校生	中学生	小学生		大人	小中高生	歴史講座 解説講座	実技講座	ジュニア・ 移動講座 ほか	大人	小中学生		
21/4	25	284	1	15	87	127	0	0	794	1,308	0	0	4	146	0	6	12	168	1,476
5	27	350	1	10	143	462	0	0	912	1,878	0	0	176	459	687	189	11	1,522	3,400
6	25	281	3	8	87	303	15	0	359	1,056	7	0	172	526	921	180	18	1,824	2,880
7	25	1,273	5	10	84	486	0	35	414	2,307	10	0	186	172	928	204	126	1,626	3,933
8	27	1,422	12	56	256	927	0	0	787	3,460	24	0	340	352	928	211	27	1,882	5,342
9	23	485	5	4	106	200	0	51	631	1,482	0	0	208	796	193	223	42	1,462	2,944
10	27	486	5	4	135	333	0	3	2,220	3,186	0	0	173	2,243	280	201	116	3,013	6,199
11	25	457	2	4	84	357	0	100	1,188	2,192	45	0	153	837	703	175	16	1,929	4,121
12	23	258	3	7	66	215	0	0	268	817	0	0	176	423	207	174	0	980	1,797
22/1	23	334	2	8	122	145	0	0	812	1,423	0	0	252	957	272	283	19	1,783	3,206
2	23	365	0	2	53	281	0	0	910	1,611	0	0	264	1,082	264	262	4	1,876	3,487
3	26	328	4	15	144	385	0	0	1,620	2,496	0	0	225	348	229	329	47	1,178	3,674
合計	299	6,323	43	143	1,367	4,221	15	189	10,915	23,216	86	0	2,329	8,341	5,612	2,437	438	19,243	42,459

管 理 及 び 運 営

歴史資料館協議会

第1回 開催日 平成21年7月29日(水)

会場 大分市歴史資料館 会議室

(1) 委嘱状交付

(2) 委員紹介

(3) 職員紹介

(5) 議事

①平成20年度事業報告

②平成21年度事業計画及び経過報告

③その他

第2回 開催日 平成22年3月4日(木)

会場 大分市歴史資料館 会議室

(1) 議事

①平成21年度事業報告

②平成22年度事業計画(案)

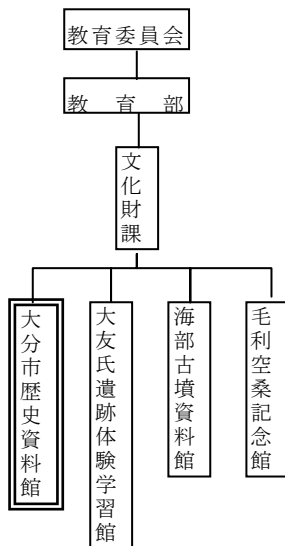
③その他

協議会委員名簿

氏 名	役 職	備 考
橘 昌信	別府大学教授	学識経験者
豊田寛三	大分大学教授 教育福祉科学部教授	〃
高橋 徹	大分県立歴史博物館長	〃
渋谷忠章	別府大学非常勤講師	〃
竹田照子	大分市PTA連合会 女性副会長部員	社会教育 関係者
三浦祥子	元社会教育委員NPO法人支 援事業選考審査委員会委員	〃
小野孝子	大分市小学校校長会代表	学校教育 関係者
牧 弘志	大分市中学校校長会代表	〃
入田 光	大分市教育委員会 教育部次長	行政関係者

組織機構・分掌事務・職員・歳入歳出

1. 組織機構



2. 分掌事務

- (1) 資料館の施設及び設備の維持管理並びに使用に関すること。
- (2) 歴史資料、考古資料、民俗資料等(以下「歴史資料等」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- (3) 常設展示及び特別展示の企画及び実施に関すること。
- (4) 歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (5) 歴史、考古、民俗等(以下「歴史等」という。)についての講演会、講習会、研究会、映写会等の開催に関すること。
- (6) 学校、図書館、公民館等の諸施設に対する歴史等についての協力及び活動の援助に関すること。
- (7) 歴史資料等についての案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の刊行に関すること。

3. 職員

(平成21年3月31日現在)

職名	氏 名	職 名	氏 名
館 長	讃岐 和夫	嘱 託	北原 洋之
副館長	久多羅岐明	嘱 託	阿部 和広
副館長	武富 雅宣	嘱 託	高島 葉月
主 査	広岡 道代	嘱 託	古瀬 美鈴
主 査	安部 幹夫	嘱 託	大平 直子
指導主事	甲斐 猛	嘱 託	細井 雅希
指導主事	姫野 公德	嘱 託	阿南 希依
主 任	中西 武尚	臨時職員	後藤 敬子
研修教諭	由良 一郎		

4. 歳入歳出

単位:千円

歳 入		歳 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
観覧料	818	管理運営費	32,049
講座室使用料	4	企画展費	5,717
歴史講座受講料	100	資料購入費	1,784
図録売払代金	457		
電話料	1		
コピー料	3		
雇用保険徴収金	8		
計	1,391	計	39,550

施設管理業務の内容

1. 施設管理業務の一部委託

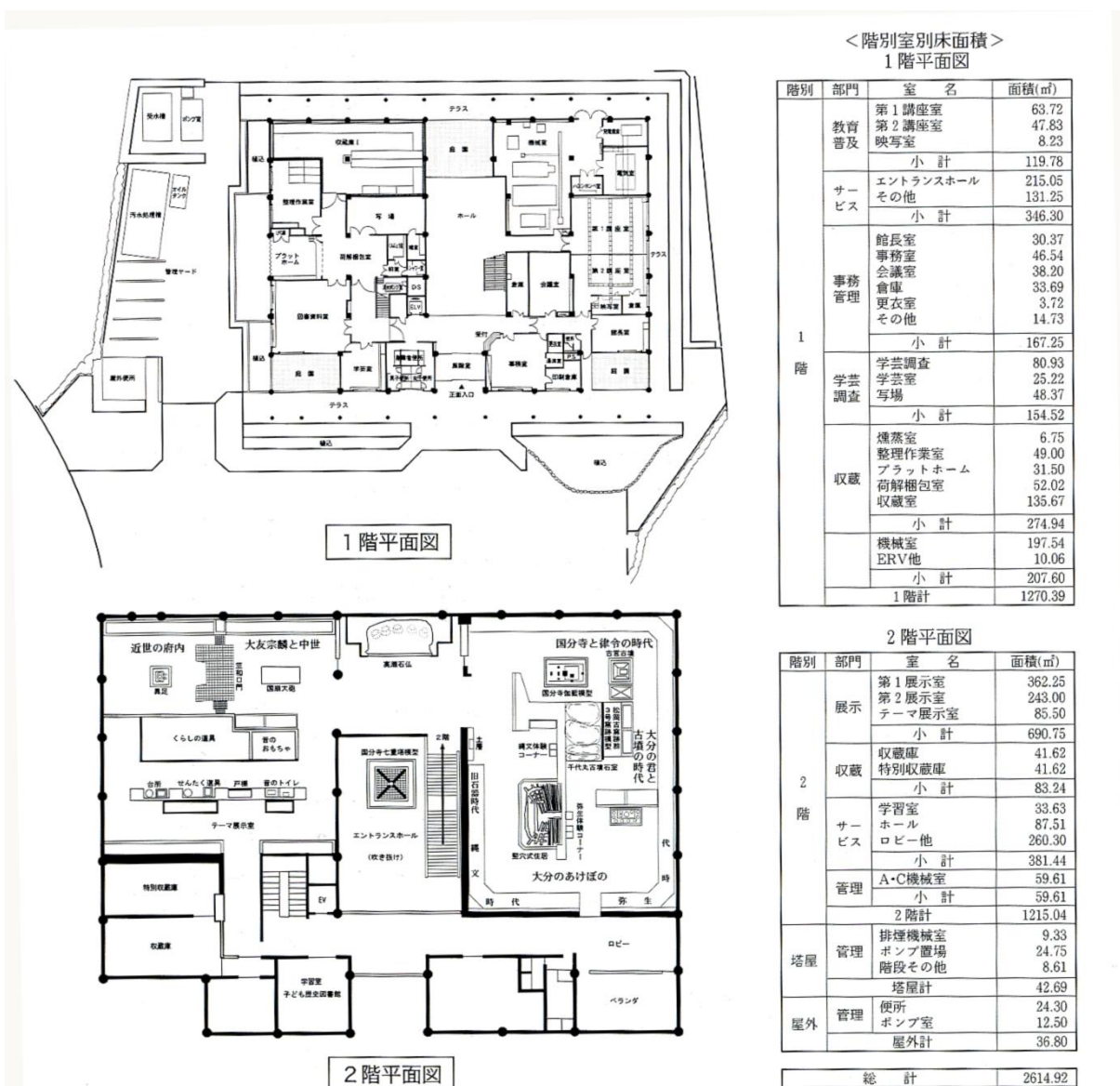
- ①警備……………総合警備保障㈱
- ②清掃(館内及び受水槽・高架水槽)
……………(有)日本ビルサービス
(館外)……………(有)協和環境
- ③緑地帯管理……………(有)松楽園
- ④電気工作物保安全管理
……………日本電気保安協会㈱
- ⑤空調設備(冷暖房)保守点検整備
……………日本暖房鉄工㈱
- ⑥消防設備点検……………新日本消防設備㈱
- ⑦エレベーター保守点検
……………フジテック㈱九州支店
- ⑧自動ドア保守点検……………大分ナブコ㈱
- ⑨浄化槽維持管理・浄化槽清掃管理事業(協)
- ⑩地下灯油タンク等漏洩検査
……………㈱エスピーシーテクノ九州

- ⑪モニターカメラ設備保守点検
ビクターサービスエンジニアリング㈱
- ⑫ボイラー保守点検・三浦工業㈱大分営業所
- ⑬展示資料及び収蔵庫燻蒸
……………㈱大分イカリテクノス
- ⑭燻蒸設備保守点検……………(有)環境技術
- ⑮豊後国分寺跡史跡公園管理
……………㈱クリーンサービス
- ⑯豊後国分寺跡史跡公園街路灯保守点検
……………鬼塚電気工事㈱

2. 消防訓練の実施 平成 22 年 3 月 3 日(水)

入館者を安全かつ迅速に避難誘導するとともに、初期消火活動の技術の向上をはかり、併せて職員の防火意識の高揚をはかる目的で実施した。 参加人員 19 名

施 設 の 概 要



利 用 案 内

開館時間 9 時～17 時

(入館は 16 時 30 分まで)

休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)
ただし、毎月第 1 月曜日は開館し、
翌火曜日が休館(祝日は開館)
祝日の翌日

(土・日曜日の場合は開館)

年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)

観 覧 料 大 人 200 円(団体 150 円)

高校生 100 円(団体 50 円)

中学生以下は無料

*団体は 20 名以上

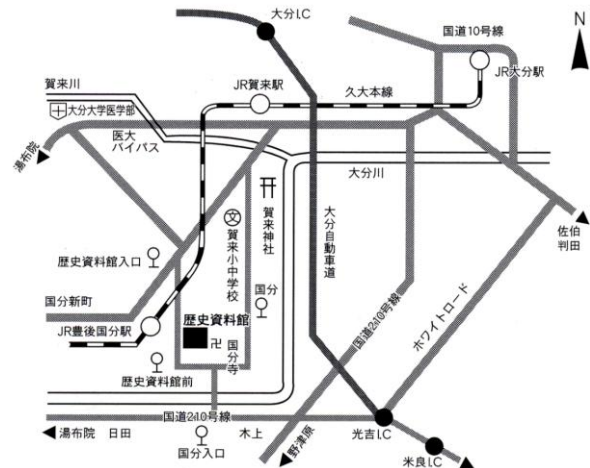
*特別展開催中は、別料金となる
場合があります。

交通機関 JR 久大本線

◎豊後国分駅下車:徒歩 2 分

大分バス

◎歴史資料館入口下車:徒歩 5 分



大分市歴史資料館年報

2010

発行日 平成 22 年 7 月 31 日

編集・発行 大分市歴史資料館

〒870-0864 大分市大字国分 960 番地の 1

TEL(097)549-0880 FAX(097)549-5766